

加藤孝明研究室

[地域安全システムの構築に向けて]

生産技術研究所 人間・社会系部門

Department of Human and Social System



地域安全システム学

工学系研究科都市工学専攻

<http://kato-sss.iis.u-tokyo.ac.jp/>

人がいて地域がある。地域は、人の生活において普遍的である。安全があり、快適があり、豊かさがある。安全は、人間の本能に根ざした基本的な欲求である。都市化は、我々に何を与え、何を失わせたか？日々の暮らしの中では、安全であることを所与の条件としていないか？都市化の進んだ現在こそ、地域の安全について再考する必要がある。再考しつづけることこそが地域の安全を確保する唯一の手段である。地域安全システム学では、都市ストックの集合体としての地域を対象に、誰もが安全で安心して暮らせる社会のシステムを考える。

Assessment プロジェクト A

市街地の脆弱性を把握・評価する

地震被害想定・地域防災計画 防災都市づくり計画(防災都市計画)

震災時に同じ色の建物群の中から出火すると、その建物群はすべて焼失する

「延焼連命共同体」

水害避難シミュレーション

人間行動の特性を反映

地震火災避難シミュレーション

Implementation プロジェクト B

対策を社会と共に考える

安全確保計画 過疎地域から学ぶ

「水辺ルネッサンス」構想 (加藤孝明研究室+今井公太郎研究室)

干潮面以下の地域：31.5km²
満潮面以下の地域：124.3km²
高潮の脅威に曝される地域：254.6km²

リスクの共有

ワークショップ手法による対策検討

「楽しみながら、続けられる防災へ」

住民とのワークショップ

防災もまちづくり

preparation プロジェクト R

計画者の立場から被災に備える

復興準備

復興状況イメージトレーニング手法の構築

生活再建シナリオの記述

市街地復興シナリオの記述

両者の整合性を検証

主人公になりきって、個人の立場から、生活再建の選択肢を考える。

プランナーの立場から、市街地復興のあるべき姿を考える。

個人の生活再建とプランナーの視点のバランスを図る。

復興状況の想定モデルの記述と復興の最適化

災害からの都市・地域復興に関する研究

Technology プロジェクト T

安全・安心社会の実現を技術的に支援する

防災まちづくり支援

AR防災アプリ「天サイ! まんぶくん」

AR技術を基盤とするツール

Google Earthによる災害情報の可視化

地域防災支援技術パッケージの構築 (新しい社会の仕組みづくり)

行政組織 地域の力が総力をつなぐ

外部 ① 触発 刺激 ② 自然災害リスクに関する正しい理解 ③ 重層化 コミュニティ(地域) ④ 関心を持つ層の拡大

共助+「公助の支援」の関係確立